

## 市長こらむ

# 障がい者の自立と就労を支援

市内の障がい者支援施設を2カ所、訪問しました。

最初は「しんわルネッサンス」です。障がい者が社会的に自立できるように就労を支援。現在4人が元気に作業をしています。

主な仕事は、自動車部品組み立て作業で、38年にわたり継続して発注していただいているそうです。作業工程ごとに役割を分担し、グループリーダーを中心に納品までの作業に当たっています。そのほかに清掃、しいたけ栽培、どんぐりポット苗の栽培、だるま制作、コーヒー封入などの作業も請け負っています。

しんわルネッサンスを運営する進和学園の出縄雅之理事長は「たくさんの企業の支援、地域の方々の理解に支えられ

ていることに感謝しています。これからも障がい者の就労支援に取り組んでいきたい」と抱負を話してくれました。

しんわルネッサンスの皆さんの仕事ぶりは真剣そのもの。クルマ作りを担っている責任感に満ちあふれていました。

次は「地域活動支援センター」ありんこの会です。

地域活動支援センターとは、障がい者が日中活動する場を確保するとともに、自立した生活を支援する施設です。ありんこの会は家族の支援も含めて、ゆっくりと過ごせるように午前8時30分から午後4時まで利用できます。

現在の利用者数は25人。訪問した日は、企業から請け負ったシャープペンシルの組み立て作業中で、明るく、元気な声が聞こえました。

ありんこの会は「ありんこの小さな一歩も大事」との思いから付けられたそうです。「明るく、楽しく、元気よく」「二歩ずつ前進」をモットーに利用者へ接していると高橋眞木代表は話してくれました。

利用者の皆さんが一日を楽しく過ごせることは、大切なことです。障がい者支援の原点を改めて感じることができました。

平塚市長

落合克宏



しんわルネッサンス(右)と、ありんこの会(左)

